



2026年(令和8年)

5号

生駒市立真弓小学校

マユミクエスト

今年の真弓小学校の体育大会は第何回の大会か次のうちどれでしょう。

※正解は次号にて

A 第49回 B 第50回 C 第51回

※前号のこたえはC時です。

全国学力・学習状況調査

－国語・算数編－

4月23日(木)に第6学年の児童を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査(国語、算数)と4月27日(月)に実施された質問調査の結果がWebで学校に公表されました。

本校は、平均正答率が、国語で全国、奈良県より約7ポイント、算数で全国、奈良県より約11ポイント高く、両教科ともに全国及び奈良県平均(以下平均略)より高い結果となりました。

国語科では、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる(言葉の特徴や使い方に関する事項)」(全国より25.8ポイント高い)や「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる(読むこと)」(全国より11.8ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となりました。一方、「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる(話すこと・聞くこと)」(全国より2.9ポイント低い)が全国及び奈良県より僅かに下回っているものの「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立

てなどを工夫して発表していましたか」の質問に発表していた、どちらかといえば、発表していたと答えた児童の割合が全国より8.6ポイント高いことから、これらのことができるように継続して指導することが大切です。



算数科では、「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できる(A数と計算B図形Dデータの活用)」(全国より17.2ポイント高い)や「立方体の体積の計算による求め方について理解している(B図形)」(全国より16.5ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となっているものの「体積の意味について理解すること」(全国より1.8ポイント高い)が更にできるように指導する必要があります。

